

一級自動車工学科			2024年度 授業計画		
時 期	3 年前期	単元	実習	教科名	工作
科 目	工作作業	教科書等 持参品	自動車整備工具・機器 工具		発行日
総時限	20時限 (32時間)				教科担 当
					教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当					
自動車整備士として、自動車本体を機械的に修理する整備経験がある教員により工作技術を指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
1. 日産 T S 2 級の技術能力要件を柱に、販売会社で求められる技術を身につけさせる。					
2. ハンダ作業を通じて、ハンダ技術を習得させる。					
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか)					
1. 整備工場で使用する機械工具及び電気工具の取り扱いを習得させる。					
2. 基本作業の中で安全作業のポイントを理解・習得させる。					
3. ハンダ付け作業を実施して、ハンダ付け技術を習得させる。					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
・実習履修試験での得点評価 実技試験で70点以上を合格とする。					
出題試験項目 工作の出来栄え (ねじたて、ねじ抜き)					
5. 準備学習					
「自動車整備作業機器取り扱い」の工作に関わる部分を一読しておくこと。					

[illegible]

■：対面授業

一級自動車工学科		2024年度		授業計画	
時 期	3 年前期	単 元	実 習	教科名	工 作
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	ドリルの刃の交換時	コンセントを抜く		誤作動での巻き込み事故	
2	ドリル操作時	手袋の取り外し、安全メガネ装着		巻き込まれ事故、目の損傷	
3	作業全般	整理整頓、清掃		金属切り粉による負傷	
4	鉄板の取り扱い時	手袋装着		手の裂傷	
5	ハンマーの取り扱い時	手袋の取り外し		ハンマーの飛び出し事故	
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		